8 本時の展開 (10/13) (指導→点線 学び→二重線 留意点→※ 評価→★)

④ 考えを交流(ペア)させる。

◇子どものノート

(5分) 【視点 2】

- T「となりの人に、自分の考えを伝えましょう。友達の発表を聞いたら、感想を言ってあげましょう。」 (予想される反応)
 - ○入れるもの:わかめ ○どうなる:髪の毛が黒くなる
 - ○どうなる:病気にならない(かぜをひかない) ○入れるもの:ピーマン
 - ○入れるもの:チーズ ○どうなる:かけっこが速くなる
- 自分の好きなものを選び自分の経験と結びつけた内容であれば、根拠の整合性は問わないようにする。 机間指導をしながら、イメージできない子へは、動物たちのを参考にしても良いことを伝える。
- ★動物たちが教えてくれたことを振り返り、自分がりっちゃんに教えたいことを考えている。

(発言・ノート)

#

ラ

ダ

は

\$

£\}

0

5

B

 λ

 \mathcal{O}

丰

紙

例

つぱい

12}

な

って、げんきに

ます。

 λ た

れ

ると

1

1

おなかが

① 前時の学習を振り、本時のめあてを確認する。

 $(\aleph)0$

入

ħ

る

~

ダ

7

 λ

(5分)

(5分)

- T「今日は、自分がりっちゃんに教えてあげることを考えてみよう。」
- ※ りっちゃんに、サラダに入れるとよいものを教える手紙を書くという学習課題を再 度確かめ、本時のめあてをつかませる。

【視点 1】

② 全文を読んで、動物たちが教えたことを確 認する。

(15分)

- T「動物たちは、どんなものを入れるといいと 言ったのか、入れるとどうなると教えてく れたのか考えながら読んでみましょう。」
- T (資料①の表を使って)「動物たちが教えたこ とを確かめてみましょう。」
- ※ 動物たちが薦めた材料は、それぞれ動物に とってどんなものか、それを入れるとどうな ると伝えたかったのか話し合わせる。

(資料①)

Į.		アフリカぞうあ		白くま		うま	あ り		すずめ		犬		のらねこ か	どうぶつせ
	しお	あ なら		こんぶ		にんじん	さどう		とうもろこし		14		かつおぶし	フダに入れるもの
			いつもげんき。	かぜをひかない。	しょうになる。	かけっこはいつもことう	はたらきものになる。	ずになる。	げんきになる。 うたもじょう	ひかりだす。	ぼっぺたがちもいろに	木のぼりもじょうずになる。	すぐにげん含になる。	サラダに入れるもの たべるとどうなるか

とうぶつ	サラダに入れるもの たべるとどうなるか	たべるとどうなるか
のらねこ	かつおぶし	すぐにけんきになる。
		木のぼのもじょうずになる。
犬	A	ぼっぺたがちちいろに
		ひかりだす。
すずめ	とうもろこし	げんきになる。 うたもじょう
		ずになる。
数 り	さとう	はたらきものになる。
ġ.	にんじん	かけっこはいつもしとう
		しょうになる。
白くま	こんぶ	かぜをひかない。
		いつもげんき。
アフリカぞう	あぶら	
	しお	
	ਰ	

サラダに入れるとよいと思うもの、それを 食べるとどのように元気になるのか考える。

T「サラダに入れるとよいと思うものを発表し て下さい。」

- ※ なかなかイメージできない子のために、P 19の手紙例を示し、思い浮かんだものを板 書しておく。
- T「何を入れるか、それを食べるとどうなるか をノートに書いてみましょう。」
- ※ それぞれの場面で「入れるもの」「どうな」 るか」の観点でまとめてきているので、自分 の考えも同様に書き込ませる。

【視点 3】

(10分)

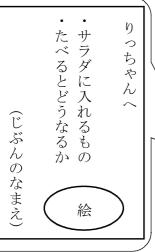
⑤ 一人一人の考えを全体で交流する。

(5分)

- T「りっちゃんへ教えたいことを発表してもら います。」
- T「友達の発表を聞いて、思ったことを話しま しょう。」

◇手紙の形式

次時の学習を イメージさえる ために、終末に 提示する。



 \Diamond

が

4

 \mathcal{O}

か

き

か

た

学習を振り返り、次時の学習への意欲をもつ。。

T 「明日は、りっちゃんへ手紙を書きます。P19の手紙を真似しながら、自分の手紙を書いて みましょう。]

※ 次時で使う、手紙の形式を提示し、意欲を持たせると同時に、実際に書くことをイメージし次 時を迎えられようにする。